

推薦選抜

令和6年度愛知県立安城農林高等学校推薦選抜実施要項（令和5年10月20日修正）

1 出願資格

本校農業科の推薦選抜に出願することのできる者は、次の(1)から(3)までの全ての条件及び「2 推薦基準」を満たし、中学校長（義務教育学校及び中等教育学校の校長を含む。以下同じ。）の推薦を得た者とする。

- (1) 令和6年3月に中学校若しくは義務教育学校を卒業する見込みの者、又は中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者。
- (2) 本校当該学科を志望する動機・理由が明白・適切で、当該学科に対する適性及び興味・関心を有すること。
- (3) 人物及び学習成績が優れていること。

2 推薦基準

- (1) 「㊦ 人物が優れており、運動、文化、芸術、奉仕活動等の諸活動（特別活動及び総合的な学習の時間における活動を含む。）のいずれかにおいて優れた能力・適性及び実績等を有する者」として、本校当該学科の教育課程を履修する学力を有するとともに、次の事項のいずれかに該当すること。

ア 運動については、郡市の公式試合において入賞した者もしくは地区（西三地区等）以上の大会に正選手として出場した者。ただし、団体種目においては登録補欠選手を含む。なお、入賞あるいは、大会出場に向けて努力した結果、同等の成果が認められる者も含む。

イ 柔道、剣道、弓道等で初段以上を取得した者。あるいは、新体力テストの総合評価がAの者。

ウ 文化、芸術については、郡市以上の大会またはコンクール等に入賞した者もしくは地区（西三地区等）以上の大会またはコンクール等に出場した者、又は自身の技量向上を目指して努力した結果、それと同等の成果が認められる者。

エ 書道で初段あるいは、英語検定、漢字検定、珠算等の各種検定で3級以上の資格を有する者。

オ 奉仕活動については、特に顕著な功績があり、関係機関より表彰を受けた者。

カ 「総合的な学習の時間」における活動において、特に積極的に取り組み、その成果を校内外で発表するなど、優れた活動実績が認められる者。

キ 生徒会役員や部活動・委員会活動でリーダーとして活躍した者、ホームルームでは級長や副級長を経験した者。

- (2) 「㊧人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者」として、本校当該学科の教育課程を履修する学力を有するとともに、保護者又は志願者が「令和6年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」に示す「『恵まれない環境』に該当する事由及び証する書類」の事由のいずれかに該当すること。

- (3) 「㊟人物が優れており、『調査書情報』の『学習の記録』が優秀で、学習活動において他の模範となる者」として、次の事項に該当すること。

学習の基礎・基本を身に付けていて、探求心が旺盛で入学後もより専門的な学習に取り組む意欲があること。

- (4) 「㊟将来、農業に関する職業に就く、又はその後継者となる意志を有する者」であり、本校の教育課程を履修する学力を有すること。

なお、「農業経営状況」を愛知県公立高等学校入学者選抜Web出願システムにより登録すること。

- (5) 本校の推薦選抜において特に重視すること。

人物が優れており、専門教科（農業）に対する興味・関心・意欲が旺盛であること。

3 合格者数

推薦選抜の合格者は、本校当該学科の募集人員の30%程度から45%程度とする。

なお、「人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者」の募集については、当該学科の募集人員のおおむね5%とし、上記に含む。

4 出願の手続き

出願に当たっては、「出願情報」等を、次の期間に愛知県公立高等学校入学者選抜Web出願システムにより登録する。

手続きは、令和6年1月25日（木）の9時から同年2月1日（木）の15時までに行う。

5 面接の実施期日

令和6年2月6日（火）

なお、個人面接で行う。

6 合格発表の日時及び方法

令和6年2月8日（木） 12時

愛知県公立高等学校入学者選抜Web出願システムのマイページで発表する。

なお、掲示による合格者の発表も行う。

7 検査当日の留意事項及び合格者登校日の日程等

- (1) 検査当日の留意事項については、令和6年2月2日（金）までに、本校ウェブページに掲載するので、志願者は必ず確認すること。

- (2) 合格者登校日の日程等については、令和6年3月8日（金）までに、本校ウェブページに掲載するので、合格者は必ず確認すること。

(URL <https://anjonorin-h.aichi-c.ed.jp>)

8 その他

- (1) 所在地 〒446-0066 愛知県安城市池浦町茶筌木1番地

Tel. 0566 (76) 6144

- (2) その他

ア 各学科の教育課程に応じて始業前、授業後、休業中等の当番実習がある。科目「総合実習」の修得単位となるため、授業と同様の扱いになります。

イ 1年生について、年間1回から4回（合計2泊から8泊）の宿泊研修がある（青雲寮）。

ウ 1年生について、本校演習林での宿泊研修がある。

エ 遠隔地で通学困難な男子生徒が入寮できる寮（済美寮）がある（人数制限があります）。